



8月新着図書案内



下旬版
富山中部高校図書館



刑務所しか居場所がない人たち

学校では教えてくれない、障害と犯罪の話

山本 譲司 著

刑務所は、世間から排除され続けた障害者が最後に行きつく「福祉施設」だった——。触法障害者や出所者の支援に奔走する著者が、福祉と司法のすきまに落ちる人々の実態を鋭く、優しく説き起こす。



ごみ収集という仕事

清掃車に乗って考えた地方自治

藤井 誠一郎 著

若手研究者が新宿区内で9カ月間にわたって、ごみの収集を中心に清掃指導や環境学習などを体験。過酷な清掃という仕事の奥深さ、日があたらぬ場所で真摯に働く職員の姿、民間委託の問題点、そして本来の地方自治のあり方について論じる。



ネコを撮る

岩合 光昭 著

ネコの写真を撮らせれば右に出るものがない岩合光昭氏が贈る、究極のネコ写真術。撮影エピソードを織り交ぜながら、モデルネコの見分け方、上手に撮れるポイントなどを伝授する。世界のネコのカラー写真多数。



新選組の料理人

門井 慶喜 著

京の大火で長屋を焼かれ、妻子ともはぐれた浪人・鉢四郎は、ふとしたきっかけで、まかない専門として新選組に入隊することになり……。新選組の知られざる内証を活き活きと描く。

憂鬱な10か月

イアン・マキューアン 著



わたしは逆さまになって、ある女のなかにいる——。胎児が語る人間たちの世界。誕生の日を待ちながら、母親のお腹のなかにいる「わたし」。胎盤を通して味わうワイン、ラジオで学ぶ国際情勢、そして父ではない男が囁く愛の言葉と、ある不穏な計画……。サスペンスと洞察が冴える長篇小説。

図書館からのお知らせ

7月20日～31日に
貸出した本の返却日は
8月23日(木)です。
読み終えた本は
速やかに
返却してください。

